

- 排便ケアの問診では、基本的な質問事項で具体的にどのような内容を確認する必要があるか挙げてみましょう。

質問項目		具体的内容
1	排便回数	例) 何日ごとに 何回
2	便性と量	
3	排便にかかる時間	
4	便意の状態	
5	排便時の状態	
6	下剤の使用方法	
7	浣腸、摘便の状態	
8	漏れの有無と状態	
9	食事回数と内容	
10	服用している薬	
11	精神状態	
12	日常生活動作	
13	トイレの環境	

- 排便ケアの問診では、基本的な質問事項で具体的にどのような内容を確認する必要があるか挙げてみましょう。

質問項目		具体的内容
1	排便回数	何日に 何回
2	便性と量	(ブリストルスケールを参考に) 固形は○cm×○本
3	排便にかかる時間	秒 ~ 分
4	便意の状態	感じない・頻回・急に感じ、我慢できない
5	排便時の状態	痛みや出血の有無
6	下剤の使用法	種類・いつから・使用頻度・量
7	浣腸、摘便の状態	反応の有無と浣腸液の使用量、種類、所要時間、摘便のしやすさ
8	漏れの有無と状態	知らないうち・我慢できず・下着につく その他
9	食事回数と内容	回数・量・種類・摂取方法
10	服用している薬	いつから、どれだけ
11	精神状態	不安、ストレスの有無、性格
12	日常生活動作	寝たきり、運動量と種類
13	トイレの環境	数、洋式・和式、手すり など

- 排便障害を改善するには、身体的状況だけではなく精神状態、動作なども把握する必要があります。排便の観察によって何を確認するのか、具体的に挙げてみましょう。

観察項目		具体的確認内容	観察方法
1	全身状態	例) 一般状態の確認	視診
2	精神状態		
3	腹部の状態		
4	肛門・直腸の状態		
5	皮膚の状態		
6	便の状態		
7	排泄動作		
8	トイレの環境		

- 排便障害を改善するには、身体的状況だけではなく精神状態、動作なども把握する必要があります。排便の観察によって何を確認するのか、具体的に挙げてみましょう。

観察項目		具体的確認内容	観察方法
1	全身状態	<p>下痢の場合、特に脱水の有無を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般状態 ● 脱水の有無 ● 随伴症状の有無 	<p>視診 検温、血圧、脈拍測定</p>
2	精神状態	<p>認知症や過度に不安を感じやすいタイプかどうかを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 認知状態 ● 性格を推測する ● コミュニケーション能力 	<p>問診 視診</p>
3	腹部の状態	<p>膨満や圧迫感、便塊が触れるかなどを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガスの張りの有無 ● 腸の働き ● 腹囲 ● 便塊の有無 ● 痛みの有無 	<p>視診 触診 聴診</p>
4	肛門・直腸の状態	<p>弛緩、狭窄などを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 肛門括約筋の状態 ● 知覚 ● 痔の有無 ● 便塊の有無 	<p>視診 内診</p>
5	皮膚の状態	<p>スキントラブルの有無を確認します。</p>	<p>視診</p>
6	便の状態	<p>便性、色、臭い、食物残渣などを確認します。</p>	<p>視診 嗅診</p>
7	排泄動作	<p>一連の排泄動作がスムーズにできるかを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 方法、時間、安全性の確認 	<p>視診</p>
8	トイレの環境	<p>トイレまでの距離、トイレ内の環境、ケアの方法などを確認します。</p>	<p>視診</p>